

「ちこ福祉館」より

令和7年
9月発行
電話・FAX
44-3410

第一回「やさしい人権講座」が開催されました。

「知る」とから始めよう 部落問題の見直し

今年度第一回目の「やさしい人権講座」が、八月二十五日(月)午後7時から開催され、大洲市在住で、歴史民俗研究者の五藤孝人さんにご講演いただきました。五十四名が受講しました。

これまでに、数多くの史料、フリー ルドワークや調査を基に、部落史や地



楽しく熱弁をふるう五藤孝人さん

「共同幻想」と「同調圧力」

部落差別の要因のひとつに、日本人特有の「共同幻想」と「同調圧力」が大きくかかわっていると考えられる。

テレビドラマや根拠のない情報を鵜呑みにせず、自分で調べ、自分で考え、まず「知る」とから始めようと強調されました。

みんなが差別者であるから」と

そして、「」にいる誰もが差別者。差別は決してなくならないし、誰もが差別意識を持つています。

域の歴史など幅広く研究を重ねてきました成果をふまえ、部落問題学習は負のイメージが強く暗い学習になりがちだが、正しい知識を正しく理解し、楽しく学習することが大切と話されました。



しかし、正しい知識を身に着けることで、自他の目の前にある差別を止め

「」とはできないはず。それを一人ひとりが実践できるようにしていきましょうと強く訴えられました。

参加者からは、「楽しい人権学習は初めて。今まで辛く悲しい話を聞くことが多かったと思う。これからは色々な方向から物事を見てみたいと思う。」「これまでの学びや経験が本当に正しいのか、根拠がどこにあるか、思い込みではないか、今一度考えてみたい。」等の感想が寄せられました。

これからも人権尊重のメッセージを届けたいと思います。



発表をする前野係長と石尾指導員

四国地区人権教育研究大会
福祉館の取り組みを発表しました。
第七十二回四国地区人権教育研究大会が、七月一〇日から十一日に松山市で開催され、前野係長と石尾指導員が、当館の人権啓発の取り組みについて発表しました。発表では、ペ

プサート(児童向けの紙人形劇)「わくわく出前講座フクブク」についての取り組みについて報告し、子育て世代を含めた幅広い世代が集う福祉センターへとアップデートしたいとの思いを伝えました。

『やさしい手話教室』

（イ）案内

初めて学ぶ初心者コースと、手話で会話ができる実用コースの2コース準備しました。お気軽に申し込みください。



金曜コース ※初心者コース

- 開催期間 九月末～十一月
- 講師 手話サークル内の子
- 受講料 無料（但しテキスト代必要）
- 曜日コース ※専用コース
- 時間 午前一〇時～正午
- 場所 うちこ福祉館 保健衛生室
- 定員 七名

※定員になり次第、募集を締め切ります。

うちこ福祉館は、前身の福祉会館を含め、創設されて55年目を今年迎えます。

大会テーマを「Go! Go! (55) 福祉館～つなぐ、広がる、笑顔の輪～」としました。

ゴーゴー

第十七回福祉館まつり 十一月八日（土）午前一〇時～

バザー、スタンプラリー、児童生徒の人権標語・ポスターの展示、フィナーレには餅撒きも行います。



Go! Go! 福祉館 ～つなぐ、広がる、笑顔の輪～

定期利用サークル紹介② 水心流弘道館剣詩舞

福祉館を利用するサークルの紹介です。

剣舞・詩舞は、吟詠の調べに合わせて、詩歌のいじりを、体技をもって表現する芸道です。是非、見学にお越しください。

○開催日（稽古日）

- 毎週火・金曜 午後五時三〇分～九時
- 毎週土曜 午後三時～六時

○代表者 宮岡靈櫻

※一〇月四日（土）に、内子町共生館で開催される「いじども文化体験教室」でも体験できます。

《午前九時～午後三時まで》



剣の振り方、足の運び方、緊張感が漂います。



収穫されたゴーヤの実は利用の方に配られ、美味しく調理されたと聞きました。

機能回復訓練室前のゴーヤが成長し、立派なグリーンカーテンとなりました。例年にはない猛暑で、発育が心配されましたが、ゴーヤの実もたわわになりました。エコオフィス推進に一役買つことができました。



機能回復訓練室を見事に覆ったゴーヤ

緑のカーテン立派に成長
そして実もたわわ